豊田工業大学

QRコード	資料請求	
	請求ハガキ	トップハガキ
	料　金	無　料
	完成時期	5月下旬

〒468-8511　愛知県名古屋市天白区久方2-12-1　入学試験事務室　FAX0120-3749-72　☎052-809-1716　FAX052-809-1741　〈HP〉http://www.toyota-ti.ac.jp/

TOPICS

- ●世界のTOYOTA（トヨタ自動車）が設立した大学
- ●就職決定率は開学以来100%を継続
- ●授業料は国公立大学並みの60万円／年（初年度納付金は約97万円）
- ●大学独自の奨学金制度も充実（貸与奨学金は無利子で利用可能）

●学部・学科組織

工学部――先端工学基礎学科　90（社会人入試など含む）

大学GUIDE

トヨタ自動車が設立　トヨタ自動車の社会貢献事業の一環として1981年に開学。「企業と創る自立型人材の育成」をめざし、トヨタグループその他各社の支援のもと、産学一体となった教育・研究環境を整備しています。

先端ハイブリッド工学　新しい分野を切り拓いていくことのできる基礎的素養を持った人材を育成することを目的に、「機械システム」「電子情報」「物質工学」の３分野を横断してすべて学びます。工学の統合的な理解を得ることで、複眼的な発想力や問題解決力を養います。また、企業派遣講師による講義・実習も多数。「デジタルカメラの製品開発」など、産業界で取り組まれている技術開発の現状を学ぶ機会が豊富に設置されています。

インターンシップ　１・３年次には必修科目の「インターンシップ」を実施。学生全員が１～1.5ヶ月にわたりトヨタ自動車・デンソー・三菱電機・ダイキン工業などの製造・研究開発部門で、一人のエンジニアとして課題に取り組む本格的な実習です。

創造性開発プログラム　エンジニアに求められる課題発見／解決力や創造力を修得すべく、「ロボット」や「電気自動車」などを題材に、モノづくりの一連のプロセス（企画・設計・製作・評価）に学生５～６人がチームで取り組むプロジェクト型実習。完成品として仕上げる過程で、工学知識の応用方法や改善手法などを学びます。

英語教育　学部４年間にわたり英語を学びます。通常の英語講義に加え、論文の書き方やプレゼンテーションを学ぶ講義、TOEIC/TOEFL対策講座など実践的な英語力の修得にも力を入れています。また多種の費用補助のもと、実施される海外研修も充実。学部生の12%、大学院生の26%が参加しています。（2016年度実績）

キャンパスが生まれ変わります（2019年度末完成予定）

少人数教育　教員１人あたりの学生数は10.1人。実習科目では１グループ６～８人で構成。少人数での学修環境は、机上の学理だけでなく、学んだ知識を学生一人ひとりが実験・実習を通じて体験的に理解を深め、実践力を身につけることに有効です。

卒業後の進路

就職指導　工学の幅広い知識と専門性を身につけ、体験的学習を通して、学んだ知識をモノづくりにいかすことを習得した学生の就職決定率は毎年100%を継続しています。大学院進学率は53.5%です（2016年３月実績）。

主な就職先　トヨタ自動車、豊田自動織機、デンソー、アイシン精機、SUBARU、日野自動車、本田技研工業、三菱重工業、ダイキン工業、住友電気工業、パナソニック、三菱電機、キヤノン、富士ゼロックス、セイコーエプソン、TDK、ニコン、KDDI、東レ、ダンロップスポーツ、コクヨ、丸善石油化学、凸版印刷、JR東海、中部電力ほか

入試GUIDE（前年度参考）

一般入試

（１次試験：大学入試センター試験　２次試験：面接試験）

オープンキャンパス（予定）（詳細はHP等でご確認下さい）

５月下旬（10:00～12:00、13:30～15:30）※各日２回実施
7/15・16（10:50～16:30）※昼食は大学でご用意
9/９・10（13:00～14:30）※大学祭にて実施

保護者説明会

適宜開催（資料請求をしていただいた方に郵送でご連絡します）

奨学金制度

豊田奨学基金奨学金制度　※他の奨学金との併用可。保護者の年収制限なし。

○貸与奨学金制度（月額２万円・４万円・６万円）
・無利子、希望者全員に貸与

○給付奨学金制度（授業料の全額・半額・1/4相当額）
・学期毎選考、学部生の９人に１人（約11%）に給付（H28実績）

資料請求方法：巻頭カラーページの「パンフレット一括請求」をご覧ください。